

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスMOKSHA		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		～ 2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 2月 4日		～ 2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントから個別支援計画、実践まで一貫した質の高い支援が実施されている。今後は評価・再設計の仕組みを強化し、専門性の更なる高度化と支援の再現性向上が期待される。	アセスメントを重視し、フォーマル・インフォーマル双方の視点から子どもの状態を把握している。	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング・研修会）を定期開催し、家庭支援機能の強化を図る。
2	職員間の連携体制が整っており、支援前後の打合せや記録共有が徹底されている。チーム支援の質を活かし、標準化と教育体系への展開が期待される。	支援前後の打合せを徹底し、支援内容と役割分担の明確化を図ることで、チーム支援の質を維持している。	児童館・児童クラブとの交流機会を創出し、地域との関係性構築と社会参加支援を強化する。
3	活動プログラムの柔軟性が高く、個別と集団のバランスを考慮した支援が実施されている。今後は発達段階別の体系化により、さらに質の高い療育提供が可能となる。	活動の固定化を防ぎ、多様なプログラムを取り入れることで子どもの興味関心に応じた支援を行っている。	職員の経験・役割に応じた段階別研修体系を整備し、専門性の底上げを図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者同士の交流機会が未実施であり、家庭支援機能が不足している。	開設初期段階であり、人員・時間的リソースが限られ、支援体制構築が優先され家族支援や地域活動の企画が後回しになっていた。	年間計画に家族支援・地域連携を明確に位置付け、計画的に実施する体制を整備するとともに保護者会・研修・交流イベントを開催し、家庭支援と保護者同士の繋がりを促進する。
2	地域との交流（児童館・地域住民等）が未整備であり、地域連携が発展途上である。	他放課後等デイサービスとの連携構築は出来たが、児童館や児童クラブ、保育園等の地域連携に関するネットワークや導線が未整備である。	地域機関（児童館・学校・自治体）との連携ルートを構築し、交流機会を段階的に拡大する。
3	第三者評価未実施により、客観的評価による改善機会が不足している。	開設初期段階であり、人員・時間的リソースが限られ、支援体制構築が優先され第三者機関への相談や評価実施等のネットワークや導線が未整備である。	第三者評価の実施と評価結果をもとにした改善会議を定期開催し、PDCAサイクルを強化する。 研修体系をレベル別・職種別に整理し、組織的な人材育成と支援の質向上を図る。